

第 113 回近畿生理学談話会

会 期：令和 3 年 11 月 27 日（土）

会 場：京都府立医科大学河原町キャンパス（基礎医学学舎 1 階 第 1・第 2 講義室）

当番幹事：京都府立医科大学細胞生理学 樽野陽幸

演 題 数：42 題

参加人数：90 名

第 113 回近畿生理学談話会は、COVID19 の感染対策に留意したオンサイト会場に加えて Zoom によるオンライン視聴・発表を可能にしたハイブリッド形式により、上記日程にて開催されました。2 年ぶりの開催ということもあり、多くの演題と参加者が集まり活発な議論が行われました。また、本談話会の演者から第 99 回日本生理学会大会の企画シンポジウム「近畿生理学談話会の温故知新」にて登壇する 2 名の若手会員が「若手優秀発表賞」として表彰されました（大阪大学統合生理学 好岡大輔・京都府立医科大学細胞生理学 相馬祥吾）。評議員会では、次回以降も若手優秀発表賞が継続されることが決まり、次回当番が滋賀医科大学統合臓器生理学の等誠司先生に決まりました。

地方会抄録はウェブページ <http://physiology.jp/nisseishi/> に掲載させていただくことになりました。（Pt 2） p. 22～p. 34 をご覧ください。